

「鉄道」遺産が 伝えること

地域の活力へつなげる産業遺産
の活用と博物館ができること

地域の産業・鉄道遺産に光を当てた3名の博物館学芸員による事例報告、そして小樽に遺る遺産の価値を新たに認識してもらえそうな活用の可能性を探っていきます。

講演日程

3月4日(日)	第1回「簡易軌道を調べてみて ～記録が記憶を呼び覚ます～」 釧路市立博物館 学芸専門員 石川 孝織 氏
3月11日(日)	第2回「博物館が鉄道と向き合うとき：事例と課題」 浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠 氏
3月18日(日)	第3回「ジオパークにおける産業遺産の活用と博物館の役割」 北海道博物館 学芸部社会貢献グループ(兼)研究部博物館研究グループ 学芸員 栗原 憲一 氏

時間

各回 10:30 ~ 12:00

定員

60人(先着順)

料金

入館料のみ

会場

小樽市総合博物館 本館 2階研修室(小樽市手宮1丁目3番6号)

小樽市総合博物館

【開館時間】9:30から17:00まで(火曜休館)

【入館料(冬期)】一般:300円、高校生・市内在住の70歳以上:150円、中学生以下:無料

【住所】小樽市手宮1-3-6

【電話】0134-33-2523

【メール】museum@city.otaru.lg.jp

